

(別添3)

【愛知県安城市】

校務DX計画

安城市はこれまでに仮想環境を活用したテレワークによる教職員の働き方改革の推進や、ネットワーク分離によるセキュリティの向上等を行ってきました。

令和5年3月には、「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」が発出され、アクセス制御に基づくセキュリティを前提としたネットワーク統合、汎用クラウドサービスの活用等を通じて、教職員の働き方改革や学習指導・学校経営の高度化等の実現が重要視されました。

それらを踏まえた安城市の今後の目標・課題は以下のとおりです。

1 デジタル化、ペーパーレス化

保護者連絡アプリによる教員から保護者への連絡、児童生徒への各種連絡、教職員間の情報共有、一人一台端末を活用した教職員の会議資料のデジタル化により、ペーパーレス化を推進してきました。

今後は授業の振り返りや健康観察等のデジタル化や、FAXでのやり取り及び押印の見直しにおいても、校務の効率化を考慮しながら調査研究していきます。

2 教育ダッシュボードの構築

校務支援システムに教育ダッシュボード機能が搭載され、児童生徒における教育データが可視化されました。さらなるデータの集約のため、校務支援システムと他のソフトウェアでデータ連携できる連携サーバーを構築し、欠席連絡ツールなど一部のソフトウェアでデータ連携を行っております。

今後は校務支援システムとのデータ連携を視野に入れながら、教育データを扱うソフトウェアを選定し、最適な教育ダッシュボードの活用方法を調査研究していきます。

3 ネットワーク環境の整備

これまで教職員が使用する校務系PCのネットワーク環境において、ネットワーク分離をすることでセキュリティを担保しておりました。令和6年9月よりネットワーク基盤の更新を行い、ネットワーク分離ではなくゼロトラスト型に変更しました。

今後は校務系PCの無線化や学習系ネットワーク（GIGAスクール）との統合、校務支援システムのクラウド化により、ロケーションフリーな校務環境の実現を目指します。